＼甲斐崇先生と学ぼう！／

レッツチャレンジNIE 小学生 第214回

★NIEは、Newspaper in Education（教育に新聞を）の略です

今週のお題

記事を読んで考えよう！

レベル★★★（高学年）

＊前回は中学年（★★☆）の問題でした

ねえ、みんなは、農作業を自動で行うロボットや技術があるのを知ってる？「スマート農業」って言うんだって。今回は、その技術を紹介する記事から問題を出すよ☆

【1】これはどこの市町村の、何という高校で行われましたか。

（市町村名　　）（高校名　　）

【2】「スマート農業」について、以下に当てはまる言葉を記事から探して説明しましょう。

「　　」や「　　」(AI)などの「　　」を活用する農業

【3】スマート農業の導入により、どのような効果が期待できますか。記事を参考に三つ書きましょう。

（　　）
（　　）
（　　）

【4】スマート農業でどのような機器を開発・導入すべきだと思いますか。あなたのアイデアを書いてみましょう。

（　　）

「スマート農業」講習会 自動走行トラクター実演 南部農林高

運転手が操作しなくても直進アシスト機能でトラクターが進む様子を見学する参加者ら＝豊見城市長堂の南部農林高

【豊見城】農業現場でロボットや人工知能（AI）などの先端技術を活用する「スマート農業」の講習会がこのほど、豊見城市長堂の南部農林高校で開催されました。南九州沖縄クボタの職員が無人で動くトラクターなどを実演しました。県内の農林高校の教職員や生徒ら約35人が参加し、新たな農業の可能性について学びました。

スマート農業関連の機器は全国の農業・農林高校で、急速に導入が進んでいるといいます。多様化する農業教育の実現や農家の働き方改革、女性が作業しやすくなるなどの利点があります。

クボタの職員は学校の農地で、水をまくドローンや直進アシスト付きのトラクターを実際に動かしながら、説明しました。

3年生で、農学部がある大学への進学を志望する米須梨乃さん（18）はトラクターの運転席に座りました。「操作が難しいと思っていたけど、簡単にできそうだった。エアコンやブルートゥース（近距離無線通信）も付いていて、女性や若者も快適に作業できそう」と話しました。

【琉球新報市町村面　2022年9月17日（土）】

【1】は、記事の最初の【　】と1文目を読んで確認しよう。【2】は、【1】で記事の1文目を読んだ人は分かるはず。【3】は、記事から分かる「利点」や体験者の感想を参考にまとめてみて。記事になくても、効果として期待できることがあれば書いてみよう。【4】は、紹介されたトラクターやドローンなどを参考に、あったら便利だと思う機能を備えた機器を考えて紹介してみよう。

かい・たかし
NIEアドバイザー、西原町教育委員会指導主事

切り取ってノートに貼れるよ。挑戦してね！